



# 『自治体における移動支援に関する地域課題』

## 意見交換会を実施して

国土交通省四国運輸局 交通政策部

厚生労働省四国厚生支局 地域包括ケア推進課

# 取組の経緯

- 地域包括ケアシステムの構築に向けて、高齢者の生活支援や介護予防は重要で、その為には**移動手段の確保**は欠かせない。
- 四国厚生支局と四国運輸局との共催で令和2年度からの3年間で、四国各県において「**移動支援セミナー**」を開催
- セミナーでは運輸局による“**道路運送法など関係する法制度**”、先進事例の“**住民主体の送迎などの地域での多様な活動**”について情報提供
- セミナーには自治体の介護保険部局だけでなく、**交通部局**の担当者の参加もあり
- 移動支援への取り組みは両方の部局間の連携は欠かせないが、それぞれ自治体内の**庁内連携**が進んでいるかという疑問も懸念される。



- **厚生支局と四国運輸局が連携・協働した取り組みを、より進めることも必要**
- 四国内の各市町村の介護保険部局、交通部局がどんな地域課題をもち、その課題の解決に向けて、**『連携すること』**における**課題の有無を把握**するために全自治体の両部局に対してそれぞれ**アンケート**を実施。

# アンケート内容及び結果

- 問1 現在、貴自治体において、移動支援に関する具体的な課題はありますか。  
 問2 問1で【ある】と回答した場合のみ、課題について交通（福祉）部署との連携は図れていますか。  
 問3 課題について交通（福祉）部署との意見交換の場を、四国運輸局と四国厚生支局に設けてほしいと思いませんか。

## 交通部局の回答

県	回答自治体数	課題		連携		意向		わからない
		有	無	有	無	有	無	
高知県	13	12	1	9	3	0	6	6
愛媛県	12	10	2	7	5	5	3	3
香川県	8	8	0	5	3	3	2	3
徳島県	11	8	3	3	5	2	2	4

## 福祉部局の回答

県	回答自治体数	課題		連携		意向		わからない
		有	無	有	無	有	無	
高知県	8	7	1	7	0	2	3	2
愛媛県	12	11	1	9	2	6	3	2
香川県	9	9	0	7	2	3	3	3
徳島県	18	13	5	11	2	2	6	6

# 意見交換会の実施【Webにて】

両部局から共に希望のあった自治体（大洲市・西条市・坂出市・鳴門市）と実施（R5年7月）

## ●現状と課題

### 交通部局

- ・タクシー業者の減少。
- ・既存の交通事業者との調整が困難。
- ・デマンドタクシーの利用者が少なく、周知自体が十分ではない。
- ・デマンドタクシーの予約方法が難しいなど利用方法に課題がある。
- ・路線バスが路線によっては利用者が少ない。
- ・公共交通の利便性と費用削減が課題。
- ・運転手不足
- ・住民のニーズが拾いきれていない。
- ・移送での空白地帯を解消したい。
- ・交通政策の補助金の活用方法に悩んでいる。
- ・住民が主体となった自家用有償旅客運送も検討したい。
- ・両部門で課題感を持っているが、お互いの業務がわからず連携というところまでは至っていない。

### 福祉部局

- ・特に山間部ではバス停までが遠く利用が困難。
- ・始発のバスでも、病院の受付時間を過ぎる等の不都合がある。
- ・一人での乗降が困難な方が場合が問題。
- ・介護タクシーは健常者が同乗できない。
- ・デマンドタクシー等利用方法がわからない。
- ・運転免許返納後の生活に不安がある。
- ・自分で買い物に行きたいというニーズもある。
- ・民間（法人等）の協力があつたが継続が難しい。
- ・住民互助の仕組みづくりが、担い手不足もあり困難。
- ・住民互助による仕組みづくりにおいて手法や具体的な内容で悩むことがある。
- ・自家用有償旅客運送以外の方法を模索している。
- ・民間ではできやすいことも、行政のサービスでは、小さなスタートアップがしづらい。

## ●まとめ

- ・福祉輸送の在り方を議論するに当たっては、交通部局と福祉部局の連携が必須。
- ・今回、他の部局の現状や情報等を知ることができて良かったという感想がきかれた。
- ・課題の有無に関わらず、自治体内において、交通部局と福祉部局の連携の場を求める声は少なからずある。
- ・今回の取組により、そうした声を見える化してできた情報共有の場を活用し、引き続き自治体を支援する。